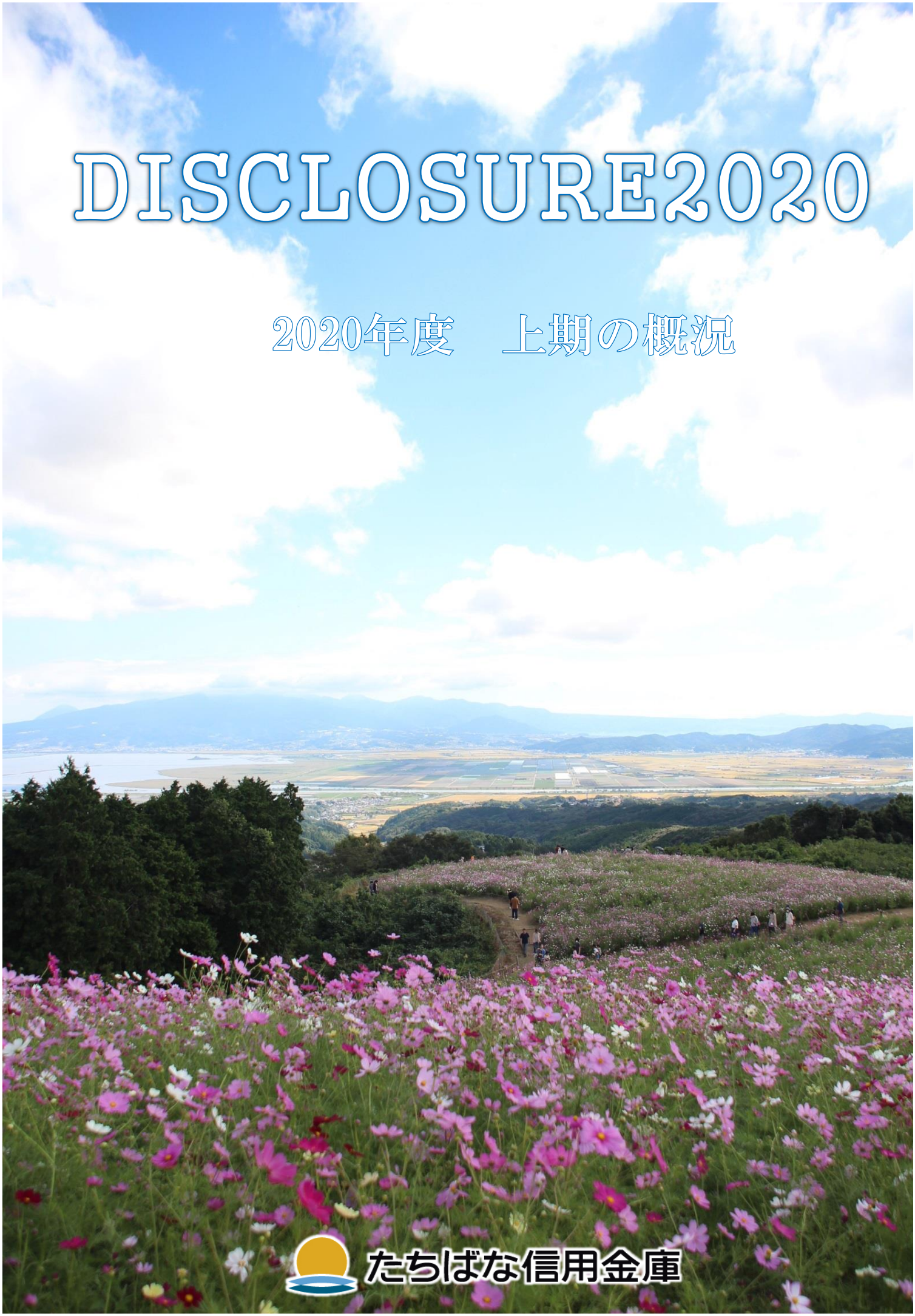
DISCLOSURE2020

2020年度　上期の概況



たちばな信用金庫

たちばなしんきん と 地域社会

～ この街と生きていく ～

皆様の大切な資金を地域に還元しています

【預金積金】
138,177百万円
【出資金】
877百万円

当金庫は、お客様にご満足いただけるよう、預金商品の開発やサービスの充実に努めています。

地域のお客様

たちばな信用金庫

常勤役職員数184人

お客様からお預りした大切な預金は、地元で資金を必要とするお客様に融資を行って、事業や生活の繁栄のお手伝いをさせていただいております。

【有価証券での運用】
23,157百万円
【預証率】
16.75%

【貸出金】
82,167百万円
【預貸率】
59.46%

○ご融資以外の運用について

お客様からお預りした預金の一部を、有価証券で運用しています。対象の選定にあたっては安全性を第一とし、国債等の公共債や事業債等を中心に購入しています。

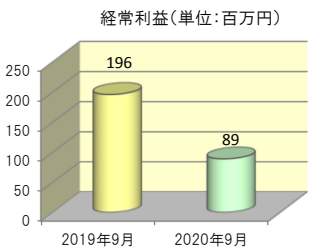
○地域のお客様へのご融資について

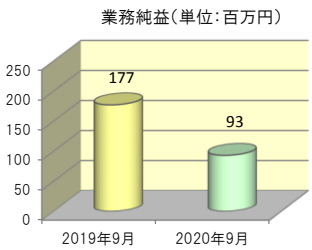
当金庫は、地域のお客様の幅広い資金ニーズにお応えしています。事業資金の融資や住宅ローンなどの個人向け融資を積極的に行っております。

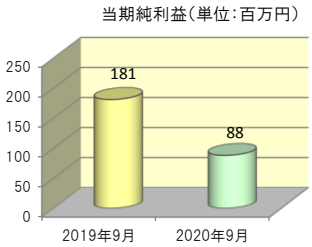
○お取引先への支援等について

当金庫は、コロナ禍におきまして、資金繰り支援の融資を積極的に対応しています。今後も継続して、きめ細かい課題解決型金融機能の推進を図り、経営改善や事業再生に向けたコンサルティング機能の発揮や販路拡大等への支援を行います。

■ 主要な経営指標







●経常利益

本来の業務から得られる営業利益に、有価証券の売却益等の臨時収益や貸倒引当金等の臨時費用を加減したものです。

●業務純益

貸出金や有価証券の受入利息や受入手数料等の収入から、預金の支払利息や支払手数料、経費を差し引いたものです。

●当期純利益

経常利益に非反復的、非経常的な損益である特別損益を差し引いた税引前当期純利益から、法人税、住民税及び事業税を差し引いたものです。

■ 単体自己資本比率(国内基準)

自己資本比率は「金融機関の健全性」を見る重要な指標です。信用金庫は、自己資本比率を4%以上維持し、健全な財務を保つことが義務付けられています。

●単体自己資本比率　（単位：百万円、%）

	2020年9月	経過措置による不算入額
コア資本に係る基礎項目（A）	5,414	
コア資本に係る調整項目（B）	12	
自己資本額（A）－（B）＝（C）	5,401	
リスク・アセット等計（D）	64,966	
自己資本比率（C）÷（D）	8.31	
総所要自己資本額	2,598	

＜参考＞　（単位：百万円、%）

2020年3月	経過措置による不算入額
5,343	
13	
5,329	
63,558	
8.38	
2,542	

※総所要自己資本額
＝リスク・アセット等計×4%

■ 預金・貸出金の状況

●預金・貸出金の状況　（単位：百万円）

	2020年9月末
預金	138,177
貸出金	82,167

＜参考＞　（単位：百万円）

2020年3月末	2019年9月末
123,714	123,281
77,068	76,087

■ 貸出金の内訳（業種別）

●貸出金の内訳　（単位：百万円）

	2020年9月末
製造業	2,581
農業、林業	104
漁業	42
鉱業、採石業、砂利採取業	―
建設業	7,089
電気、ガス、熱供給、水道業	323
情報通信業	34
運輸業、郵便業	894
卸売業、小売業	5,085
金融業、保険業	3,156
不動産業	14,826
物品賃貸業	264
学術研究、専門・技術サービス業	345
宿泊業	1,093
飲食業	1,938
生活関連サービス業、娯楽業	1,109
教育、学習支援業	164
医療、福祉	4,525
その他のサービス	3,998
小計	47,579
地方公共団体	4,932
個人（住宅・消費・納税資金等）	29,655
合計	82,167

＜参考＞　（単位：百万円）

	2020年3月末
製造業	2,180
農業、林業	245
漁業	51
鉱業、採石業、砂利採取業	―
建設業	5,928
電気、ガス、熱供給、水道業	208
情報通信業	16
運輸業、郵便業	602
卸売業、小売業	4,286
金融業、保険業	3,141
不動産業	14,900
物品賃貸業	231
学術研究、専門・技術サービス業	301
宿泊業	953
飲食業	1,306
生活関連サービス業、娯楽業	952
教育、学習支援業	170
医療、福祉	3,737
その他のサービス	3,519
小計	42,736
地方公共団体	4,319
個人（住宅・消費・納税資金等）	30,012
合計	77,068

※貸アパートもしくは貸ビル建設に係る貸出金は個人であっても不動産業へ計上しております。

※業種別の区分は、日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。

■ 金融再生法ベースの債務者区分による開示(単体)

●金融再生法開示債権　（単位：百万円）

	2020年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	723
危険債権	1,399
要管理債権	48
正常債権	81,612
合計	83,784

＜参考＞　（単位：百万円）

2020年3月末
688
1,512
26
76,210
78,436

●金融再生法債権の保全状況　（単位：百万円、%）

	2020年9月末		
	担保・保証等	引当金	保全率
破産更生債権等	419	303	100.00%
危険債権	871	340	86.57%
要管理債権	34	6	82.60%
合計	1,325	650	90.95%

＜参考＞　（単位：百万円、%）

2020年3月末		
担保・保証等	引当金	保全率
420	267	100.00%
907	394	86.09%
25	3	100.00%
1,353	664	90.67%

●金融再生法上における不良債権比率

2020年9月末	2.59%

＜参考＞

2020年3月末	2.83%

金融再生法開示債権の開示基準は、担保や保証があり回収確実な部分や、貸倒引当金が計上されている部分、いわゆる保全可能分を含んで開示しています。よって全てが回収不能債権となる訳ではありません。

■ 有価証券の時価情報

●その他有価証券で時価のあるもの　（単位：百万円）

	2020年9月末			
	時価	評価差額	うち益	うち損
債券	18,353	150	238	87
株式	84	△ 24	5	30
その他	4,687	42	159	117
合計	23,125	167	403	235

＜参考＞　（単位：百万円）

2020年3月末			
時価	評価差額	うち益	うち損
17,857	185	245	60
85	△ 24	2	26
4,337	△ 83	109	193
22,279	76	357	280

●満期保有目的有価証券で時価のあるもの　（単位：百万円）

	2020年9月末			
	帳簿価額	含み損益	うち益	うち損
債券	―	―	―	―
その他	―	―	―	―
合計	―	―	―	―

＜参考＞　（単位：百万円）

2020年3月末			
帳簿価額	含み損益	うち益	うち損
―	―	―	―
―	―	―	―
―	―	―	―

●時価のない有価証券の貸借対照表計上額　（単位：百万円）

	2020年9月末			
	帳簿価額	含み損益	うち益	うち損
子会社・関連会社株式	―	―	―	―
非上場株式	32	―	―	―

＜参考＞　（単位：百万円）

2020年3月末			
帳簿価額	含み損益	うち益	うち損
―	―	―	―
32	―	―	―

●売買目的有価証券　該当ございません

（注）2020年9月末の「評価差額」および「含み損益」は、2020年9月末時点の帳簿価格（償却原価法適用後、減損処理後）と時価との差額を計上しております。

■ 地域貢献活動など

●SDGs宣言

7月にSDGs宣言を行いました。 内容は「中小企業の発展への貢献」「健全な社会生活の維持」「地域社会発展への奉仕」の3項目について、21の施策を掲げ、地域社会の発展に尽力してまいります。

1. 中小企業の発展への貢献

- **新現役（シニア）人材による事業支援**
  - ＊新現役（シニア人材）交流会
- **新商品・サービスの開発支援**
  - ＊上場企業、大学、研究機関の開放特許等の知的財産活用によるマッチング
  - ＊クラウドファンディングの活用
- **企業課題解決支援**
  - ＊よろず支援拠点との連携、事業引継支援
- **販路拡大支援**
  - ＊よい仕事おこしネットワークの活用、しんきん合同商談会をはじめとした商談会への参加
- **新規創業支援**
  - ＊トータルサポートプラン（日本政策金融公庫、長崎県信用保証協会との連携）
- **若手経営者、企業後継者、女性経営者の育成支援**
  - ＊たちばな未来塾
- **経営者の交流と知識向上支援**
  - ＊たちばなビジネスクラブ未来、各種セミナー

2. 健全な社会生活の維持

- **環境に負荷をかけない店舗作り、ペーパーレスの推進など環境に配慮**
  - ＊LED照明の導入による省力化
- **地域の環境美化活動**
- **子育て応援商品の企画販売**
  - ＊教育ローン、教育カードローン
- **すべての子供たちへの学びの場の確保**
  - ＊教育ボランティアの支援
- **相談会の開催**
  - ＊相続・遺言相談会（長崎県弁護士協会との連携）
- **地域で働く人への支援**
  - ＊たちばなパートナーズ協定
- **園児対象の交通安全教室の実施**
- **安心できる老後生活の支援**
  - ＊年金アドバイザーによる年金受給の支援
- **地域医療の支援**
  - ＊献血
  - ＊しんきんメディカルアシストプロジェクト　信金deサポート（長崎県保険医協会との連携）

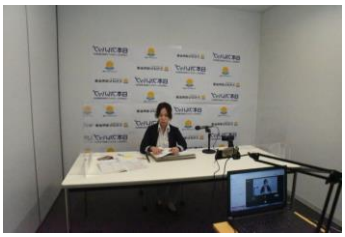
3. 地域社会発展への奉仕

- **地域企業の社会貢献支援**
  - ＊SDGs私募債の取り扱い
- **地域のイベント・スポーツ・文化活動への支援**
  - ＊のんのこ諫早祭り、長崎くんちをはじめとした各地域の祭りへの参加
  - ＊諫早雲仙ウルトラウォーキングへのボランティア派遣
  - ＊いさはやレディースロードレースへの協賛
  - ＊市民スポーツ競技会への参加
  - ＊諫早文化会館のシートカバーの提供
- **地域情報の発信**
  - ＊フェイスブックからの情報発信
- **長崎県への来訪者の誘致**
  - ＊他地方からの観光旅行等による来訪者の誘致（長崎県観光連盟との連携）
- **性別、ハンディに関係なく、健全に活躍できる企業風土作り**
  - ＊くるみん認定企業、ハンディがある方の雇用、女性管理職の育成、健康企業宣言

●雇用調整助成金セミナーの開催

コロナ禍において、従業員の給与支払いなど資金繰りに課題がある取引先を支援することを目的に、9月25日に特定社会保険労務士である増田葉子氏を招き、「雇用調整助成金セミナー」を開催しました。

セミナーは、本部3階の応接室に特設スタジオを開設し、2階会議室にはソーシャルディスタンスを確保できる定員15名のパブリックビューイング方式の会場を設置するとともに、たちばなビジネスクラブ未来のフェイスブックページを用いて、ライブ配信を行いました。会場には12名が来場、ライブ配信は最大時120名が視聴しました。



●Webセミナー「With コロナへの適応！今だからこそ、会社の未来を考える!」を開催

「たちばな未来塾」「たちばなビジネスクラブ未来」のセミナーが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施できなくなったことを受け、インクグロウ株式会社から講師を招き、Webセミナー「With コロナへの適応！今だからこそ、会社の未来を考える!」を開催しました。

このセミナーは9月から12月まで、計8回の講義で構成され、コロナ前およびコロナ後の経営のあり方を考察し、中期経営計画の策定を目指すもので、受講者はたちばなビジネスクラブ未来の会員を中心に83名となりました。

戦略的中期経営計画策定講座　カリキュラム

開催日		No.	講座内容	講師
9月	17日	第１講	成長戦略のファーストステップ！ ”経営理念”考察ポイント	鈴木
	24日	第２講	環境変化に適応する！自社の成長戦略考察 ＜現状分析と事業ドメイン設定＞	鈴木
10月	7日	第３講	環境変化に適応する！自社の成長戦略考察 ＜ビジョンと商品・サース差別＞	田中
	15日	第４講	中小企業事例に学ぶ No.1 戦略と差別化事例	田中
	28日	第５講	戦略を実行する組織・働き甲斐のある会社の創り方① ～組織構造編～	鈴木
11月	10日	第６講	戦略を実行する組織・働き甲斐のある会社の創り方② ～組織風土編～	鈴木
	25日	第７講	経営者の会計思考が企業を存続させる！ ポイント3つ	田中
12月	3日	第８講	事業計画の数値化と成長戦略実現に向けた ローリングプラン	鈴木

●Web商談会への取組み

7月3日、羽田イノベーション・シティ内にオープンした「よい仕事おこしプラザ」において、大手百貨店と当金庫取引先のWeb商談会が行われました。

まだ、先が見えないコロナ禍において、今後この形式での商談会が増えてくるものと予想され、リアル商談会の再開を見据えながらも、新しい形での商談方式として受入れ、積極的な対応を図っていくこととしました。

●長崎県立諫早商業高等学校の実習授業への協力

長崎県立諫早商業高等学校において、新型コロナ感染症拡大に伴い、例年実施している販売実習ができなくなり、その代替実習として生徒たちが当金庫取引先の販路拡大等の手伝いを行いました。16社の取引先企業にご協力いただきました。